



芭蕉誌

琉球大学同窓会関東支部会報誌

第15号

2015年10月発行



第21回 関東支部総会・懇親会(2014年10月)

第22回総会・懇親会(2015年10月)のお知らせ

日時: 2015年10月17日(土) 12:00 ~ 15:00

場所: 日本教育会館(9F) 喜山倶楽部 千代田区一ツ橋2-6-2

会費 5,000円

お気軽にご参加ください。

懐かしい、そして楽しい出合いがあります。

※ご不明の点は事務局へメールまたはお電話でご照会ください

目次

P 1	表紙	第 22 回総会・懇親会のお知らせ
P 2	目次	
P 3	支部長（初等教育学科 1962 年入学）挨拶	
P 4	学長（経済学科 1970 年入学）ご挨拶	
P 5	同窓会会長（保健体育学科 1962 年入学）ご挨拶	
P 6	第 21 回（2014 年）総会・懇親会のご報告	
P 7	機械工学科同窓会	理事会・懇親会便り
P 8-9	琉大同窓会 60 周年記念行事のご報告	
P10	同窓生便り	岡本 一宏（海洋学科 1978 年入学）
P11	同窓生便り	城戸 一幸（大学院法務研究科 2008 年入学）
P12-14	同窓生便り	與座 卓（機械工学科 1982 年入学）
P15	決算報告・予算案・役員名簿・活動方針	
P16	事務局からのお願い・後付	

ゴク ゴク ゴク ゴク ゴク



ゴク ゴク ゴク ゴク ゴク

クロビール




容量 350ml
アルコール分 5%

ブラックエール

沖縄の地ビールのうまさ、黒でも実現。

お酒は20歳を過ぎてから 飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

南都酒造所

遠く離れ暮らしても忘れぬ
生まれ島、沖縄♪

いよいよオキナワスタッフ事業部が オープンになりました♪

沖縄出身者の転職応援、派遣の紹介をします。

代表は人材業界30年で沖縄の東風平出身の新垣進でございます。皆さんの周りの子供、親戚、友人に勧めたい仕事一杯。営業職・販売・事務職など高収入の仕事も一杯

A portrait of a middle-aged man with dark hair, smiling. He is wearing a grey suit jacket, a white shirt, and a red and blue striped tie.

株式会社
オールビジネスリンク
代表取締役 新垣 進

関東沖縄経営者協会 副会長
東京沖縄県人会 理事

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-3 内神田STビル5F
TEL：03-3251-6315 FAX：03-3251-0305 携帯 090-8476-4426
E-mail：shingaki@all-biz-link.co.jp

●琉大出身ではありませんが渡久山長輝さん、高山厚子さん、宮城重哲さんと親交あり。

関東の集いの場に、同窓会を!

支部長挨拶



琉球大学同窓会関東支部長 高山厚子

1966年 琉球大学教育学部初等教育学科卒業

1966年 東京富士貿易(株)通訳兼社長秘書

2013年 東京の小学校教諭・教頭・校長を歴任し、退職

2018年 練馬区教育委員会不登校対策室

2020年 三鷹市教育委員会就学相談員

現在、沖縄料理研究家として全国を飛び回る

著書:「緑のカーテンの恵みを食べよう」「緑のカーテン大百科(料理部門)」他

暑い・熱い今年の夏でしたが、会員の皆様にはご健勝でお過ごしのことと存じます。

「10月第3土曜日は、琉球大学同窓会関東支部の日」です。昨年の関東支部同窓会には約60名余の方々が参加し、大変な盛り上がりを見せました。当日に、恩師をご招待していただいた方や、学部同窓会を開催していただいた方がいらっしゃったおかげで、遠路はるばる沖縄や九州、東北などから現役でご活躍の方々もご参加。関東支部同窓会を活発にしたいという会員の皆様の思いが結集した結果と受けとめています。例年同様、懇親会を盛り上げていただいたクイチャーパラダイスの方々にも、心より感謝する次第です。

また、今年は、本部同窓会においても幸喜徳子会長の陣頭指揮の下、60周年記念式典などが華々しく挙行され、琉球大学卒業生が地元沖縄をはじめ、国内や海外でご活躍の様子を知り、改めてわが母校を誇りに思いました。

本年の関東支部同総会では、機械工学科を卒業後、広く海外で活躍し、ボランティア活動も継続しているらっしゃる興座卓氏の講演を予定しております(10～12ページに紹介)。平和な島国日本で生活してい

ますと、諸外国の現実とは意外と知らないことも多いものです。国際的に活躍している興座氏から、世界の現実を学べるのではないのでしょうか?

私も退職後13年になりますが、様々な活動が続けております。その一つに、沖縄県修学旅行アドバイザーの委託を受け、沖縄へ修学旅行に行く中・高校の生徒たちに「沖縄の歴史や文化・自然・人・平和への思い等々」をその学校の要望に応じて話をするために、全国へ出向いております。戦後70年を迎えた今年は、戦争を体験した全国の高齢者の方々が当時のことを生々しく語るニュースが相次ぎ、各学校の関心も高かったように思います。

「ヌチ ドウ タカラ 命こそ宝」は、世界に共通する理念でしょう。複雑な歴史を担う沖縄の地、その地に建つ琉球大学という場で学んだ私たちは、高校3年生知念君の詩(慰霊の日入選詩)

「みるく世(ゆ)がやゆら＝平和でしょうか」

を心に刻みたいものです。

最後に、今年も協賛広告をご出稿いただきました多くの個人や企業の方々にご心よりお礼を申し上げます。次年度以降も、どうぞご支援をよろしくお願い申し上げます。



同窓会本部から関東支部長への感謝状贈呈(60周年記念式典)



支部長会議で、各支部の支部長や事務局長と



第16代琉球大学学長 大城 肇

1951年6月23日鳩間島生まれ
1974年 琉球大学法文学部経済学科卒業
1977年 広島大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)
2004年 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター長
2005年 琉球大学学長補佐
2008年 琉球大学副学長
2009年 琉球大学理事・副学長
2013年 琉球大学学長

9月に入り、沖縄の陽差しも心もち柔らかくなりました。琉球大学同窓会関東支部会員の皆様には、各界でご活躍のことと敬意を表します。

平成27年5月1日現在、琉球大学には8千余名の学生が在籍しています。65年前の開学時は562名でした。大学の使命は、学生を育てる(教育)とともに、真理を探究し(研究)、その成果を社会に還元していくこと(社会貢献)で、中でも、学生を育てることは「大学の本分」そのものです。琉大生の元気な活躍ぶりの一端をご紹介します。

学生ベンチャーのチーム「がちゅん」が、Enactus JAPAN 2015で優勝し、日本代表としてこの10月に開催されるワールドカップ南アフリカ大会に派遣されます。「がちゅん」は、沖縄に修学旅行で訪れる多くの生徒に対して、大学生との交流を通じたアクティブラーニング「平和学習プログラム」を提供・実践してきた活動が認められての快挙です。

また、「第2回福島県再生可能エネルギー普及コンテスト」(朝日新聞社主催)で、理工学研究科電気電子工学専攻の学生4名が最優秀賞を受賞しました。

彼らの功績は、直流送配電新技術を福島県へ導入することによって、再生可能なエネルギーの効率的な利用や系統の安定度が改善できることを示した点です。

昨年度から官民協働で海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」がスタートし、琉大からも每期数名の学生が海外へ派遣されています。この枠とは別に、私が議長を務めている沖縄産学官協働人材育成円卓会議が母体となって、県内の大学生・専門学校生の海外留学支援の地域人材コースも採択され、琉大生3名を含む7名が東南アジア等に派遣されます。

本学は、学生の潜在可能性を引き出す「しかけ」を用意し、元気でチューバーな琉大生を世に送り出していきたい、もっと学生達の活躍する姿を多くの人々に伝えたい、と創意工夫を凝らしているところです。皆さん、後輩の活躍にご期待あれ！

むすびに、琉大同窓会関東支部会員の皆様のご健勝とご活躍、ならびに関東支部のますますのご発展を祈念申し上げます。



学長祝辞(60周年記念式典)



安慶田沖縄県副知事祝辞(60周年記念式典)

同窓会の60周年事業を盛大に挙行

同窓会会長ご挨拶



琉球大学同窓会会長 幸喜徳子

1966年 琉球大学教育学部保健体育学科卒

1966年 県立豊見城高等学校教諭

1967年 日本航空(株) 国際線スチュワーデス

1977年 沖縄石油ガス(株) 取締役常務

1994年 沖縄県国際交流財団 専務理事

2008年 沖縄石油ガス(株) 代表取締役社長

現在、日本簡易ガス協会沖縄支部理事、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県等の各種委員を務める

沖縄では那覇大綱挽の季節を迎え、祭りの賑わいも一入です。琉球大学同窓会関東支部の皆様、お元気ですか。日頃より同窓会活動にご協力を賜り、誠に有難うございます。

当会関東支部では、会員の皆様の参加が年々増加傾向とのご報告、嬉しい限りです。毎年参加者が嬉々として集い、琉大生の頃を振り返りそれぞれの青春を語り合い、かつ近況報告をしておられるご様子に、会の意義深さを実感致します。郷土沖縄そして琉球大学という共通のキーワードが持つ力の大きさに気づかされること多々です。

恒例となっているクイチャーパラダイスの仲本光正氏、声楽の木村陽一氏の余興も楽しみの一つです。東京にあって素晴らしい琉球舞踊やカンツォーネ等声楽の鑑賞ができ、会員の皆様にとってどれほど心癒されることかと感謝の念に堪えません。

さて、琉球大学同窓会本部では、お蔭様で創立60周年記念事業も大方終了し、残るは記念誌作成のみとなりました。

本年2月の芸術祭を皮切りにチャリティゴルフコンペ、顕彰碑建立、記念講演会、支部長会、総会、式典、

祝賀会と盛り沢山の事業でしたが、同窓生はもとより産業界をはじめ各界の皆様のご協力を賜り、全て盛会裏に終えることができました。

特に芸術祭は200名余の同窓生が出演し華々しい舞台を繰り広げ、チャリティゴルフコンペには稲嶺恵一元沖縄県知事を特別顧問に83組、322名が参加下さいました。お蔭で琉球大学への学生支援金も、120万円を寄贈できましたことをご報告申し上げます。

ロサンゼルス在の岸本正之様による記念講演も、満席の聴衆に深い感銘を与えて頂きました。

長年温めておりました、支部長会への各支部事務局長のご招待も実現でき嬉しいことでした。諸事業の実施に際し、関東支部の皆様にも遠くよりご声援賜り有難うございました。

例年実施している教員採用試験対策講座の受講生の中から、一次合格者が46名確認できており、これも大きな喜びでございます。

当会関東支部が今後も高山支部長の下、更なる発展をされますようそして会員の皆様のますますのご活躍ご健勝を祈念申し上げ挨拶と致します。

2015年9月1日



同窓会会長挨拶(60周年記念式典)



感謝状を授与された方々(60周年記念式典)

琉球大学(全学)同窓会 関東支部 2014年度総会・懇親会のご報告

日時：2014年10月18日(土) 総会・懇親会 12:00～15:00

場所：日本教育会館 9階 喜山倶楽部 参加者：60余名

2014年度の関東支部の総会及び懇親会は、10月18日(土)正午より、大学からは大城学長と平良総務課長、同窓会本部からは幸喜同窓会会長と照屋副会長にご臨席いただき、また、関東支部の同窓生60数名の参加を得て、盛会裏に開催することができました。名古屋や九州・沖縄からの参加者もあり例年以上の盛り上がりを見せました。

総会が滞りなく終了した後、懇親会では参加者全員の近況報告が行われ、同窓生の各界での活躍を確認することができました。例年同様、「久米島の久米仙」からご提供の泡盛で舌鼓を打ち、最後は仲本光正氏主宰の「クイチャーパラダイス」による沖縄民謡と舞踊のパフォーマンスで盛り上がりました。本年度のご参加も何卒よろしくお願いいたします。



高山支部長の挨拶



大城学長のご挨拶



幸喜会長のご挨拶



来賓のスピーチに耳を傾ける



琉大出身の法曹の方々



同窓生のスピーチ



当日の裏方、関東支部の幹事諸氏



支部長と歓談する元琉大教授、吉川武彦先生
(2015年3月ご逝去)



いつも名司会の長谷川さん

東京沖縄県人会

名誉会長 **渡久山 長輝**

(S 35年物理学科卒)

東京都中央区八重洲2-11-2 城辺橋ビル2階

関東沖縄経営者協会名誉会長
美ら島沖縄大使

(株)日本アドバンス 代表

重田 辰弥

(1959年 法政学科入学)

〒101-0046 千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階
BLOG: <http://blog.goo.ne.jp/shigeta-nas>

機械工学科同窓会 関東支部 理事会・懇親会だより

当理事会は、2、3ヶ月に一度のペースで、銀座のとあるビルの琉球料理屋で開催しています。役員による会議終了後の約2時間を、一般会員も参加できる懇親会に当てています。琉球料理や泡盛を堪能しながら日常の生活や憂さを忘れ、懇親を深めてもらう趣向です。時には、個人的に発信したいテーマに占有時間を与えられスピーチする会員もいます。

直近では、琉大機械工学科1982年卒の與座氏が、保健・医療・福祉、国際協力、子どもの健全育成などの事業を展開するNPO法人を立ち上げ、世界64カ国で活躍されてきた経験談を発表されました。(本誌12ページ～14ページご参照)

会費3,000円で、琉大機械工学科同総会会員ならどなたでも参加できます。イベントはその都度、ご案内しておりますので、気軽にご参加下さい。

私ども理事会は、長い間、前支部長の新宿事務所を根城に活動をしておりましたが、あの2011年3月11日の東日本大震災の際に、その事務所が入っているビルの壁にひび割れが生じて雨漏りがするようになり、退去せざるを得なくなりました。

その後の理事会は、元の新宿事務所近くの居酒屋で、飲み食いする代わりに無料で店の一室を貸して貰い、しばらく活動することになりましたが、昼間の、客が入る前の早い時間とは云え、書類がかるうじて読める薄暗い部屋でした。

「琉大機械工学科同窓会関東支部」の存在を発信し広めるためには、何らかのインパクトが必要です。それならば、我々の存在情報を、日本の情報発信の中心地の銀座から発信しようとの発想で、理事会開

催場所のターゲットを銀座にしぼり物色した結果、現在の場所に落ち着きました。

交通の便がすこぶるよく、立地条件に恵まれた場所です。最先端情報の集まる銀座ホコ天での銀ブラや周囲の施設巡り、例えば、日比谷公園の散策、東京国際フォーラムや有名電気メーカービルの訪問などを楽しんだ後に、懇親会に臨んでみてはいかがでしょうか。

琉球大学機械工学科同窓会関東支部 第14期定例総会のお知らせ

2年毎の定例総会が、全学同総会・関東支部総会&懇親会(本誌の表紙ご参照)に先立ち、下記要領で開催されます。今回は卒寿を越えられた平敷兼貴先生と山里栄昭先生のご臨席を賜ります。

記

日 時	平成27年10月17日(土)
定例総会	10:30～12:00
ご来賓ご臨席	11:00～12:00
会 費	1,500円
場 所	日本教育会館(喜山倶楽部)
引き続き全学同窓会関東支部2015年度総会&懇親会(会費5,000円)へ合流します。	



與座氏のスピーチ



最近の懇親会風景



ありし日、新宿の居酒屋の片隅で

琉球大学同窓会本部 60周年記念式典を盛大に挙行

日時：2015年7月11日(土) 場所：ホテルロイヤルオリオン(沖縄・那覇)

支部長会 12:00～15:00 記念講演 14:10～15:10

定期総会 13:00～13:50 記念式典 15:30～16:30

祝賀会 17:00～18:00

琉球大学同窓会は昨年創立60周年を迎えました。ことし2月より、同窓会本部では様々な記念行事を行っています(本誌5ページ、幸喜会長のご挨拶参照)。去る7月11日には、定期総会・支部長会に合

わせて、60周年記念式典、祝賀会、記念講演が盛大に開催されています。関東支部からは支部長と事務局長が、本部同窓会から招待されて参加いたしました。



記念式典：大学からの感謝状授与



記念式典：佐喜眞宜野湾市長祝辞



記念式典：上間西原町長祝辞



記念式典で大学の歌斉唱



岸本正之氏の記念講演

㈱有限会社 エシマエンジニアリング

代表取締役 **江洲 良一**
(S43年 電気学科卒)

東京都足立区千住中居町18-10 野中ビル
Tel: 03-3879-9723
メール: eshima-eng@nifty.com

新東洋機械工業(株)

(化学工業薬液用ポンプメーカー)

常務取締役 **宮城 調春**
(短大部2期・機械学科卒)

埼玉県越谷市谷中町2-49-1
TEL: 0489-65-8511 Fax: 0489-65-8520



祝賀会の全体記念写真



かぎやで風による祝賀会幕開け



弦楽合奏：祝賀会



ヴォーカルアンサンブル：祝賀会



乾杯：祝賀会



定期総会の模様



支部長会



支部長会

株式会社三洋堂ホールディングス
代表取締役 最高執行役員 CEO 社長

加藤 和裕
(史学科 1983 年卒)

〒467-0856 名古屋市瑞穂区新開町18-22
Tel:052-871-3434 Fax:052-871-3470
<http://www.sanyodo.co.jp>



埼玉県 大宮高等学校卒業

1978年 理学部海洋学科 第4期生として入学。卒業後、青年海外協力隊に参加。トンガ王国水産局にてイセエビ・ナマコなどの資源調査に従事。

1986年 琉大大学院理学研究科に入学。修了後、国連ボランティアとしてキプロス共和国水産局にてタイ・スズキの養殖を指導。その後、国際協力機構(JICA)のジュニア専門員としてオマーン水産開発プロジェクトに参加。

現在 アイ・シー・ネット(株)の開発コンサルタントとして、フィリピンの地方行政人材育成プロジェクト、ナイジェリアの初等理数科教育プロジェクトなどに従事。

同級生と沖縄の暖かさ

私が琉大海洋学科で学びたいと考えるようになったきっかけは、1975年、沖縄海洋博の後に訪れた慶良間で、海の透明度やサンゴ礁の魚に魅了されたことでした。

高校までは勉強嫌いでしたが、琉大の、学科も学年も関係なく、1年時から自分の好きな科目を履修できるシステムに感激し(その分、受講する講義を諸先輩方から聞いて研究し、3パターンくらいの受講日程案を作り、体育館へ全力疾走して待機する先生方に判子を貰う、知力と体力勝負の厳しい競争でしたが)、初めて、勉強が楽しいと思えました。おかげで、1・2年で教養科目を、3年で海洋学科の専門科目もほぼ履修し、4年目は、自分の研究に没頭することができました。

海洋学科には生物、地質、化学など専攻ごとに複数の研究室があり、1人の教官に学生が2～4名という非常に恵まれた環境でした。私は、京都大学から来られた西田先生の研究室の初代学部生として、同期の富永君と一緒に集団遺伝学を学び、スズメダイ科魚類の集団遺伝を卒論としました。卒業後は、協

力隊員としてトンガで国際協力の第一歩を踏み始め、それが現在まで続いています。

そして今年5月、海洋学科40周年記念同窓会へ参加するため、久しぶりに沖縄を訪れました。同窓会には、90歳の今もお元氣な木崎先生、琉大の副学長になられた西田先生、大学院の指導教官の諸喜田先生などの先生方を初め、160名以上の同窓生が集まる盛況ぶりでしたが、同期である4期生が一番多く集まったことを嬉しく思いました。

そこでは、卒業以来33年ぶりに会った同級生も、まるで、昨日まで一緒にいたように接することができ、仕事や肩書きや世間のしがらみとは関係ない、シンプルに琉大海洋学科の仲間として、酒を酌み交わし、たわいない話で盛り上げられることを、心底ありがたかったです。

私は、沖縄に帰るたびに、独特の空気とか人々に包まれているような気持ちになりますが、その根底には、沖縄の人々が持つ暖かさやナンクルナイサーという前向きな姿勢があるのでないかと思います。同窓会に参加して、改めて、その思いを強くしました。同窓会に参加して、改めてその思いを強くしました。



代表 名嘉 盛光 (体育学科1970年入学)

産婦人科医・作家

太田 靖之

(理学部海洋学科 79生)

<http://www.justmystage.com/home/yota/sub2.html>



琉大以前 大学卒業後、日興証券入社。同社グループの自己投資会社の代表取締役社長、SONYリテール取締役、西武鉄道取締役、プリンスホテル取締役、タワーレコード取締役、ソフトバンクコールセンター取締役、KDDI研究所VB取締役、等の兼職を経て、

2008年4月 琉球大学大学院法務研究科入学

2011年3月 同 修了

2013年1月 現職、シンプレクス企業内弁護士(非登録)

私と沖縄と琉球大学

同窓会関東支部に、大学院法務研究科(以下、ロースクールといいます。)の卒業生もお招きいただき、まことにありがとうございます。ロースクールは2004年の開設ですので、まだ若い卒業生が多くおります。ただ、私の場合は社会人経験を経た後に入学しましたので、私のせいでロースクール卒業生の平均年齢を押し上げているかもしれません。

ロースクールには、学部は他大学出身という卒業生が多くおります。私もその一人です。私は、沖縄の生まれではなく、学部も琉大ではありません。沖縄にはあまりご縁がなかったのですが、かつて仕事の合間に、妻と一緒に石垣島を訪れて以降一変しました。底地ビーチや川平湾、玉取崎からナータ浜、平久保崎から大地離を見て、涙が溢れそうでした。圧倒的に美しいものを見ると、人は泣きたくなることがあります。それまでは休暇といえばアジアのビーチリゾートに行っていたのですが、それ以降、専ら沖縄に行くようになりました。

事情があって前職を辞めた後、家族も賛成だったので東京から沖縄に移住することにし、琉大ロースクールに入学しました。2008年4月、上の子5歳、下の子0歳のときでした。琉大ロースクールは、大規模校とは異なり家族的で修学に適した環境であるとともに、年齢も経歴も出身地も異なる多様な院生がおりました。横のつながりも強く、講義の後、年の離れた同級生たちと毎週のように飲み歩いたりしました。

また、週末になると、子どもたちを観光地に連れていったり、家族で離島を巡ったりしました。数え

てみたら、全部で42の島々に行っていました。子どもの小学校つながりで地元(中城村)の人たちともふれ合う機会も増えました。

しかし、好きで好きで大好きな土地での夢のような暮らしは永くは続きません。ロースクールを修了し、那覇での司法修習を終えた後、2013年1月、私は仕事の都合で家族を沖縄に残し東京に戻ることにしました。それ以降、東京と沖縄とを行き来していたのですが、上の子が中学校にあがるのを機に、この4月に家族も東京に戻ってきました。私は4年9か月、家族は7年間沖縄で暮らしたことになります。子どもたちにとっては人生のほぼ全ての時間です。

7年間にわたる素晴らしい旅は終わりました。東京に家族全員ようやく揃ったという感慨とともに、沖縄を離れたことの喪失感を感じています。緑深い琉大のキャンパスや、琉大近くのハンタ道にある東太陽橋から見る中城湾(与勝半島から知念半島までが一望できます。)が目に焼き付いて離れません。

いまは琉球大学が自分の出身校であることを誇らしく思います。

きっといつかまた沖縄に帰れる日が来ることを夢見て。



琉球新報社

東京支社長
新垣 邦雄
ARAKAKI KUNIO

東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座4-9-6
陽光銀座三原橋ビル3階
TEL.03-6264-0981 FAX.03-6264-0982
本 社 〒900-8525 沖縄県那覇市天久905
TEL.098-865-5111(代)



沖縄県立那覇高等学校(当時)卒業

1982年 琉球大学理工学部(当時、現工学部)機械工学科卒業

1985年12月 医療機器保守管理技術者としてイラク駐在(～1988年8月)

その後アジア、中近東、アフリカ、中南米等において医療機材コンサルタントまたは専門家としてODAプロジェクトに従事

1998年1月 株式会社エムイー企画(現在は株式会社トウリュウ開発に名称変更)創設

2012年4月 NPOクリエイティブアクト創設、ラオス国地域住民への健康診断を実施

2015年7月 児童養護施設サレジオ学園にて学習ボランティア活動開始

国際協力に関わって

1. 学生時代の決意とその結果

琉球大学工学部機械工学科の学生だった頃、将来自分が何をなしていくべきか随分悩んでいましたが、結論として30年間は開発途上国の人のためになる仕事をしようと決意しました。優秀な技術者が大勢いる日本国内で頑張るよりも、一人の技術者でも必要とされる地域で頑張りたいと考えたからです。

卒業後もしばらくの間紆余曲折はあったものの、実際に開発途上国での仕事に関わるようになってから、今年2015年がちょうど30年目になりますので、学生時代の決意のひとつは達成したことになります。そして学生の頃はもうひとつ、決まった国で長年仕事するのではなく最低でも30カ国以上の国で仕事をしたいと考えていましたが、結果として、アジア、中近東、アフリカ、中南米、さらに欧米での関連業務もあり、最終的には64カ国で仕事をすることができました。

学生の頃にはそんなことできるわけがないと思いながら決意を立てましたが、自分が願った以上の結果に達することができたのは数多くの人達からの協力

があり、数多くの機会をいただいた結果であると大変感謝しています。そしてその感謝を自分だけの経験として終わらせるのではなく、次世代の人達が世界で活躍できる人材となれるよう支援することが残りの人生の使命ではないかと考えています。

2. 国際協力とは何か

国際協力とはどのようなものなのかを考えると、まずは誰のための協力なのか、ということ再認識しておく必要があると思います。支援を行う側の自己満足のためではなく、現地の人達のための支援である以上、先進国から開発途上国に対して一方的に価値観を押し付けることなく、開発途上国の人達と相互に学びあい、一緒に成長しあうことが重要ではないかと思っています。

特に、グローバル社会では、低賃金で働く開発途上国の人達がいることで先進国にいる我々も安価な資源や労働力、様々な製品を享受できるのであり、国際協力によって資金や技術を開発途上国に投入することは、一方的ではなく相互にメリットのある事業となっていると言えます。また、先進国には技術力や経済力があるとは言ってもそれが必ずしも幸福を

沖縄料理研究家
修学旅行アドバイザー

高山 厚子

(初等教育学科 S41 年卒)

沖縄料理研究家

メール: takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
ブログ: 「空飛ぶあっちゃん」発信中

NIC社会保険労務士事務所 所長
ノーブル・インクルージョン(株)

特定社会保険労務士
キャリア・デベロップメント・アドバイザー

永田 幸江

(H7年・法政学科卒)

〒115-0045 東京都北区赤羽 1-62-12-304
TEL.03-5939-6178 FAX.03-5939-6187
Mobile: 070-6519-8472 E-mail: info2@office-nagata.com

保証するものでもなく、むしろ開発途上国の劣悪な環境の中で、家族や友人同士が強い絆で助け合っている人の方がはるかに幸福に思えることも多々あります。このため国際協力の現場においては常に現地の人達の文化や価値観を尊重し、その上での支援であるべきではないかと思えます。日本その他の先進国のやり方をそのまま導入するのではなく、あくまでもそれぞれの国のそれぞれの現場にあった、現地の人たちのための解決方法または改善方法であるべきではないでしょうか。

3. 国際協力の現状

国際協力の目的が現地の人達の生活の質の向上であるとすれば、単なる同情心で金品を与えることは必ずしも役に立つとは限らないと思いますが、国際機関であっても一部の組織ではそういう論理がまかり通っているのが現状だと個人的には認識しています。単に金品を供与するだけの支援方法は、現地関係者の腐敗を助長する結果にもつながっていることは大変残念です。そういう論理ではいくら長年支援をしても現地の人達の状況改善に与える影響は限定的です。このため一時期は「援助疲れ」ということがマスコミでも議論になりました。長年いくら援助しても何も変わらないのであれば、何もしなくても良いのではないかと、といった議論でした。

本当に必要な支援は、現地の人達が自分達で何かしらの能力を向上させていくこと、自らの力で生活の質を向上させていけるようになること、ではないかと考えます。国際協力はそのためのお手伝いでしかないのではないのでしょうか。問題や課題を解決もし



ラオスNPO活動

くは改善していくにあたっては、それが誰のためなのか、何のためなのかという目的を見失わないようにしていく必要があると思います。

4. 国際協力の仕事

国際協力に関わるために必要な能力は、客観的に言えば、高い専門知識、詳細な打ち合わせが可能となるような高い語学能力、関係者を説得できるだけの交渉力、その他コミュニケーション能力やマネージメント能力等、様々あると思いますが、最も重要なことは「人間力」ではないかと考えています。それは特殊な能力ということではなく、相手がどのような国のどのような立場の人達であれ、同じ人間としてどれだけ相手を尊重し大切にできるかということではないかと思えます。先進国の価値観を押し付けることは開発途上国の人達のおかれた環境に適しているとは言いがたい部分もたくさんあるため、ゼロベースからの解決策や改善策を一緒に考え出していくことが重要であると考えています。

5. 国際協力から学ぶべきこと

残念なことに、先進国でもあり経済大国とも呼ばれる日本国内では高い自殺率が大きな社会問題となって



東京支社が移転しました！
今後とも宜しくお願い致します

〒104-0061 中央区銀座 8-18-1
銀座木挽町ビル 6階
電話 03-6264-7878
FAX 03-6226-1200

沖縄タイムス社

東京支社長 具志堅 毅

(株)アロマコンサルティング

代表取締役 **宮城 重哲**
Miyagi Shigenori

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志 3-15-37-10304
TEL: 070-6454-3281 http://www.seepa.jp/u/aroma/shigenori_miyagi@yahoo.co.jp

います。2013年の統計データでは107カ国中の13位という報告もありました。加えて高齢者を標的とした詐欺が横行したり、その高齢者が孤独死したり、といった問題もあります。一方、開発途上国では生活環境が劣悪なものであるにも関わらず、現地の人達が強い絆で相互に協力しあう姿を見ると、本当に幸せなのはどちらなのかとわからなくなることが何度もありました。技術力や経済力といった観点ではなく、同じ人間という観点から考えると、我々が開発途上国の人達から学ぶべきことはたくさんあると思います。人間とは何か、生きる意味とは何か、本当の幸せとは何か、長年の開発途上国での仕事を通して、ひたすら考えさせられてきたように思います。

6. 琉球大学後輩達への期待

アフリカのブルキナファソという国で、現地側及び日本側責任者達とともに現場調査やいくつかの打ち合わせやらが終了した後の最終的な協議において、現地側責任者からの冒頭の一言が「今回は與座さんが参加してくれて大変良かった」という言葉でした。大勢の責任者がいる前での第一声だっただけに日本側関係者が驚いて私の方を振り向いたことで私の方もびっくりしてしまいましたが、現地側責任者によれば「與座さんは我々を同じ人間として扱ってくれた。それが何よりも嬉しい。」ということでした。

また昨年末まで3年間にわたって滞在していたエチオピアでは、沖縄で研修を受けた現地カウンターパートから「沖縄はパラダイスだ、いちゃればちよーでーが大事だ」等と聞かされたこともありました。それは私個人が特殊な能力を有しているということ

ではなく、沖縄という風土の中で育ち、琉球大学という豊かな環境の中でのびのびと勉強させてもらったことで、沖縄では当たり前のことが、むしろこの国に行ってもお互いの人間性を感じながら仕事や生活に臨むことができたものだとは認識しています。「いちゃればちよーでー」の精神は、小さな島国日本のさらに狭い一地方だけではなく、むしろ世界中で共有可能となっている概念です。世界に羽ばたくということは特殊なことをするというよりも、むしろ同じ人間として世界中の人達と対等につきあっていくことが重要という立場から、琉球大学の後輩諸君には日本という枠に捉われず、世界という土俵で堂々と活躍してもらいたいと願っています。



ブルキナファソ看護学校



エチオピアHEW

沖縄三線音楽
クイチャーパラダイス

代表 仲本 光正

TEL 03-3982-2446
FAX 03-3982-2644

〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-28-1 タクトTOビル606号室

中島信一郎法律事務所

弁護士 中島 信一郎
(1975年法政学科入学)

住所：〒104-0061 中央区銀座4丁目9-6
陽光銀座三原橋ビル6階
電話：03-6226-2200

2014年度決算報告 & 2015年度予算案

単位:円

決算報告書(2015.4.1 ~ 2015.8.31)

来期(2015年度)

収支報告書		期首予算	差額	摘要
収入				
前期繰越	752,817	752,817	0	
総会費	240,000	216,000	-24,000	出席者57名
年会費	100,000	100,000	-100,000	
寄付金	30,000	84,000	54,000	
組織強化金(本部より)	100,000	100,000	0	
広告料収入	50,000	110,000	60,000	
受取利息	0	147	147	
合計	1,272,817	1,262,964	-9,853	
支出				
事務用品費	10,000	28,080	18,080	
通信費	60,000	84,428	24,428	
名簿作成費	0	0	0	
会報作成費	90,000	154,600	64,600	
総会費	300,000	222,458	-77,542	泡盛寄付他
会議費	50,000	0	-50,000	
雑費	3,000	51,243	48,243	
次期繰越	759,817	722,155	-37,662	
合計	1,272,817	1,262,964	-9,853	

来期予算	摘要
722,155	
300,000	5,000円×60名
0	
50,000	
100,000	
100,000	
0	
1,272,155	
30,000	
70,000	
0	
150,000	
250,000	
20,000	
30,000	
722,155	
1,272,155	

貸借対照表(2015.8.31現在)

資産の部		負債・繰越金の部	
普通預金	722,155	未払金	
未収金	0	次期繰越金	722,155
合計	722,155	合計	722,155

2015年度 役員名簿

支 部 長	高山 厚子	初等教育学科	1966年卒
副支部長	仲里 朝幸	数学科	1960年卒
副支部長	崎浜 浩一	機械工学科	1965年卒
副支部長	島袋 朝順	電気工学科	1968年卒
副支部長	江洲 良一	電気工学科	1968年卒
副支部長	仲本 光正	経済学科	1981年卒
副支部長	名嘉 盛光	体育学科	1974年卒
副支部長	中島 信一郎	法政学科	1975年入
事務局長	金城 利光	法政学科	1975年入
事務局次長	三村 邦彦	電情工学科	1992年卒
事務局次長	糸数 昌史	電気情報工学科	1991年卒
事務局次長	永田 幸江	法政学科	1995年卒
芸能部次長	比嘉 千都代	心理学科	1968年卒
総務部長	池田 正人	経済学科	1990年卒
会計部長	仲宗根 南子	総合社会システム学科	1999年入
会計監査	奥村 弘美	養護科	1976年入
顧問	渡久山 長輝	物理学科	1960年卒
顧問	桑江 良奉	英文学科	1950年卒
顧問	中島 政彦	教育学科	1954年卒
顧問	喜友名 朝昭	商学科	1961年卒
顧問	砂川 義信	法政学科	1964年卒
顧問	重田 辰弥	法政学科	1959年入

2014年度活動報告

第1回幹事会 2015年1月22日(木) 19:00 ~
第2回幹事会 2015年3月30日(月) 19:00 ~
第3回幹事会(若手会員懇親会)
2015年4月9日(木) 18:00 ~
平成27年度同窓会本部総会(創立60周年記念式典)
高山支部長・金城事務局長 出席
2015年7月11日(土)
機械工学科幹事会 中島副支部長 出席
2015年7月18日(土) 18:00 ~
第4回幹事会 2015年7月22日(水) 18:00 ~
第5回幹事会 2015年8月6日(木) 18:00 ~
第6回幹事会 2015年8月26日(水) 18:00 ~
第7回幹事会 2015年9月10日(木) 18:00 ~
総会・懇親会 2015年10月17日(土) 12:00 ~ 15:00



**この島は
元気です**

久米島の久米仙 www.k-kumesen.com
本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町字江城2157 TEL.098-985-2276(代)

宮城 悟

(法政学科1979年卒)

国際心相科学学会 会長
〒111-0031 東京都台東区千束1-6-1-905
Tel: 03-5808-3639

事務局からのお願い

総会・懇親会へのご出席

琉大の出身者で関東にお住まいの方は、全て同窓会関東支部の会員です。毎年、10月の第3土曜日の総会・懇親会にはお気軽にご出席下さい。かつての学科やサークルの仲間と会う機会としてご利用いただき、同窓会を盛り上げて下さい。

ご寄付のお願い

関東支部は、会員相互の懇親や情報交換だけではなく後輩たちの社会進出にも貢献したいと考えています。その為の資金として、今年から皆様にご寄付をお願いすることにしました。ご協力のほど宜しくお願いします。

振込先(郵便局口座) 郵貯銀行から振り込む場合:(記号) 10500 (番号) 52592781

他金融機関から振り込む場合:(店番) 058 (預金種目) 普通預金 (口座番号) 5259278

琉球大学同窓会 関東支部

支部長: 高山厚子 (初等教育学科 1962年入学)

事務局長: 金城利光 (法政学科 1975年入学)

連絡先: nakasone@nakajima-law.net

事務局住所: 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目9-6

陽光銀座三原橋ビル6階

(中島信一郎法律事務所内) Tel: 03-6226-2200

ホームページ: http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/dousoukai/kantou/web/

芭蕉誌 第15号 琉球大学同窓会関東支部会報誌 【禁・無断転載】

発行人: 中島信一郎(法政学科 1975入学)

発行日: 2015年10月17日

編集人: 金城利光(法政学科 1975入学)

発行所: 琉球大学同窓会関東支部事務局



沖縄料理 琉の介

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-2

後藤ビルB1F

TEL: 03-3252-5528

URL <http://ryunosuke-okinawa.com>



くれすと

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-10

松栄ビル6F

TEL: 03-3254-0635

URL <http://pub-crest.com>

くれすと



貸会議室

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2

神田南口鋭光ビル4F

TEL: 03-5577-5717

URL <http://mediaone-kaigi.com>



株式会社メディア・ワン

代表取締役社長



一般社団法人
関東沖縄経営者協会
Kanto Okinawa Management Association

会長

仲松 健雄



東京沖縄県人会

会長

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2 神田南口鋭光ビル4F

TEL: 03-5297-4601 FAX: 03-5297-4611 URL <http://media-1.co.jp> E-mail: t-nakamatsu@media-1.co.jp